

第七十回国民体育大会（和歌山県） 総合閉会式あいさつ

去る、九月二十六日に天皇后両陛下のご臨席を仰ぎ開幕した東日本大震災復興支援 第七十回国民体育大会は、

多くの感動と輝かしい成果をもち、十一日間にわたる競技を終了いたしました。

本日、秋篠宮同妃両殿下のご臨席を賜り、無事に総合閉会式を迎えることができましたことを、皆さんとともに、心から喜びたいと思います。

まずもって、和歌山県選手団の皆さん！

栄えある天皇杯の獲得おめでとうございます。

そして、東京都選手団の皆さん！皇后杯の獲得おめでとうございます。この栄誉は、和歌山県民の皆さんの力強いご支援のもと、長年にわたる競技者育成へのたゆまぬ努力が結実したものであり、心からお祝いを申し上げます。

また、郷土の代表として参加された選手の皆さん！

本大会の合言葉である「躍動と歓喜、そして絆」のもと、各会場で繰り広げられた皆さんの活躍は、大会を大いに盛り上げ、ふるさとをはじめ、全国各地の方々に勇気と元気を与えてくれました。

選手の皆さんには、この大会で得た貴重な経験を活かし、より一層の精進を重ねられ、世界レベルの競技会、ひいては二〇二〇年東京オリンピック競技大会を目指すとともに、生涯を通じて、フェアプレー精神と郷土愛を持ちつづけ、スポーツを通して、明るく豊かな社会の創造に貢献されますよう期待しております。

終わりに、心を込めて大会を支えてくださいました、競技会役員の皆さん、さらに係員、ボランティアの皆さんをはじめとするすべての和歌山県民の皆さんに、心から感謝申し上げますとともに、和歌山県の益々のご発展をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。